

**研究事業 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)に関する研究事業 (エコチル調査コアセンター)**

<b>委員会の主要意見</b>
現状についての評価・質問等
<p>○大規模な健康モニタリング調査で、8年後に80%の回収率を維持できている実績は、諸外国の調査に比べて高いとのこと、2019年度の実績の一つとして高く評価する。【年度】【見込み】</p> <p>○効率的なサンプル確保、分析・解析方法の開発など、技術の向上も目指して欲しい。【年度】【見込み】</p> <p>○化学物質が多い個人について、その原因などを解析することが可能なスキームとなっているのか。対策という観点で提案が可能であれば示して欲しい。【見込み】</p>
今後への期待など
<p>○成果を専門誌への投稿はもちろん、このプロジェクトに協力参加している15箇所のみなさんだけではなく、一般国民にも伝わるようなセミナーや啓蒙書の刊行を期待する。【年度】</p> <p>○エコチル調査の成果が徐々に出てきており、化学物質が子どもの健康に影響を及ぼすのかどうかを解明する上で有用な知見が得られることを期待する。【年度】【見込み】</p> <p>○遺伝的要因や暴露評価だけではなく、年齢や成長段階での特徴や地域的な特徴などについても研究成果が出されることを期待する。【年度】</p>

<b>主要意見に対する国環研の考え方</b>
<p>① 引き続き質問票の回収率の維持に努めます。</p> <p>② 効率的な化学物質測定方法の開発についても引き続き努めます。</p> <p>③ 化学物質の曝露経路の分析については、食事に関わる質問項目や生活習慣に関わる質問項目などから検討してまいります。</p> <p>④ 環境省が設置する戦略広報委員会とともに一般国民に対する啓蒙活動について進めてまいります。</p> <p>⑤ 測定結果の精度管理やデータクリーニングを経た解析用データセットの作成を着実に進め、研究成果の発表に努めてまいります。</p> <p>⑥ 年齢や成長段階での特徴や地域的な特徴などについても研究成果の発信に努めてまいります。</p>